

保幼小中一貫教育だより



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第8号 R1. 11. 15



姫路市立白鷺小中学校

(義務教育学校)

第1回実践研究発表会に参加して

令和元年10月25日(金)、姫路城のすぐ傍にある「姫路市立白鷺小中学校」の実践研究発表会に、町内の教職員、管理職、教育委員会事務局の5名で参加してきました。

本小中学校は、小中一貫教育校から今年度より義務教育学校へと移行されて1年目の学校。これまで全国的にも小中一貫教育を先進的に取組んでこられた学校のひとつです。本町のこれからの小中一貫教育推進のために、勉強させていただきたいという思いで、授業や報告ならび発表を見聞きさせていただきました。その中でも特に「すばらしい!!」と感じた3点を挙げてみました。



玄関先のカイノキ



中学校3年生「英語」の授業風景



小学校のノート指導

すばらしい!!ところ

- ① 「真正(本物の意)の教育」を目指して試行錯誤されていること
現状に満足することなく、子どもたちにどうすれば力がつくのかを考え続ける学校でした。
- ② 児童生徒の「探し続け、迷い続ける姿勢や過程」を大切にしていること
子どもたちが価値のある課題を見つけ、様々な壁にぶち当たりながら、友達と協力しながら課題を解決していくことを大切にされていました。
- ③ 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と協働する学校を運営されていること
元教頭先生が学校と地域をつなぐ「コーディネーター役」をされていて、『学校の応援団』をどんどん増やし、学校が元気になる取組みが進められていました。

この3点について、本町の教育に是非とも参考にさせていただきたいと感じました。

「保幼小中一貫教育」こんな活動が進んでいます



吉川中学校生徒と
赤ちゃんがふれあう活動



野菜の苗植え
(ふたば園)

『豊能町立東ときわ台小学校』文部科学省研究開発学校 研究発表会(11月1日(金))

研究テーマを「小学校の通常の学級に在籍する学習上の困難さを有する児童に対する特別の教育課程のあり方に関する研究」とし、平成28年度より4年間をかけて研究を重ねてきました。

当日は、全国各地より約200名の先生方にお越しいただき、「授業参観」をはじめ、文部科学省の調査官であられる青木様の講演もいただきました。4年間の研究成果を町内の学校に発信していきたいと思っております。

